

基本構想

第1章 柳井市のめざす将来都市像	P. 2 3
第2章 計画を推進していくために	P. 2 4
第3章 まちづくりの基本目標と基本施策	P. 2 6
第4章 将来の人口	P. 4 1
第5章 土地利用の基本的な考え方	P. 4 3

第1章 柳井市のめざす将来都市像

第1節 目標年次

この基本構想は、平成38年度を目標年次とします。

第2節 まちづくりの理念とめざす将来都市像

本市は、白壁の町並みや茶臼山古墳、大畠瀬戸の渦潮、多島美を誇る瀬戸内海、緑豊かな里山などに象徴される美しい景観や豊かな自然環境に恵まれています。気候は、温暖多日照で比較的雨が少なく、過ごしやすい瀬戸内海型気候区に属しています。古くから水陸交通の要衝として知られ、江戸時代には、瀬戸内屈指の商都として繁華を誇り、営々と受け継がれてきた各地の伝統行事など、多くの有形無形の歴史的・文化的資産を有しています。また、明治維新の先覚者の一人である僧月性をはじめ、それぞれの時代・分野において傑出した才能を開花させた多くの人材が輩出するなど、様々な魅力と個性のあるまちです。

私たちは、これらの魅力や先人たちが築き上げてきた伝統と文化を受け継いで、次代に継承する責務を負っています。また、国を挙げた地方創生への取組が進む中、市民と行政が協働し、厳しい財政状況を克服して、自主自立のまちづくりを進めていかなければなりません。これからも、これらの貴重な財産を守り育てると同時に、誰もがいきいきと安心・安全に暮らせるまちであり、市民一人ひとりが個人として尊重され市民の力が最大限に発揮される自治体経営を確立するために、本市の将来都市像を次のように定め、3つのまちづくりの理念のもとその実現をめざします。

将来都市像

**「市民の力で支えあい、一人ひとりが主役の笑顔あふれるまち柳井
～柳井で暮らす幸せを実感できるまちをめざして～」**

まちづくりの理念

- 自分たちの暮らす柳井に愛着を持てるまちづくり
- 地域の支えあいと協働で進める市民主体のまちづくり
- みんなが安心・安全に暮らせる持続可能なまちづくり